

<報道関係者各位>

2026 年 8 月 18 日

地方の「技術者不足」に、ロボコンで挑む 『ROX 2026』 9 月 4 日(金)、5 日(土)開催



株式会社モルテン（本社：広島市西区 代表取締役社長：民秋清史、以下、モルテン）は、ロボット工学を軸として、エンジニア、クリエイターが技術、知識、アイデア、人脈を交換する、世代や属性に開かれたコミュニケーションを促すコミュニティ ROX（Robotics Open eXchange）

『ROX2026』を、9月4日(金)、5日(土)の2日間、テクニカルセンター molten [the Box]にて開催します。今年で3年目となる今回は参画パートナーが10社に拡大しました。

■ 地方のモノづくりが直面する「技術者不足」

地方の製造業では、将来を担うハードウェアエンジニアの確保が年々難しくなっています。その背景には人口減少に加え、ソフトウェア産業の急速な成長や若年層の都市部志向など、複数の社会的要因があります。製造業の人手不足は、各種統計にも明確に表れています。中小企業における製造業の従業員数過不足DI(※1)は、2025年時点でコロナ禍前の数値を超え**マイナス17.9**となっており、深刻な人手不足が続いています。

また、人材の流れにも大きな変化が見られます。総務省『労働力調査』によると、2025年は情報通信業の就業者数が前年から**10万人増加**した一方で、製造業の就業者数は**13万人減少**しました。

成長著しいソフトウェア分野へ人材が流入する一方、ハードウェア分野を志す若いエンジニアは減少傾向

にあります。さらに、地方企業にとっては学生の地方離れも深刻な課題です。地元（Uターンを含む）への就職を希望する学生は62.3%と、前年から0.3ポイント減少しました。地方企業が学生と接点を持ち、採用につなげることは、以前にも増して難しくなっています。（※2）

一方で、地方経済において製造業は依然として地域を支える基幹産業です。自動車、電子部品、ロボティクスをはじめとするモノづくり産業は、多くの雇用を創出するとともに、世界市場で競争力を発揮し、地域へ外貨をもたらす重要な役割を担っています。地方経済の持続的な成長を支えるためには、これらの産業の競争力を維持・強化していくことが不可欠です。

私たちは、**ハードウェア産業こそが、日本が世界で競争優位を築くことのできる強みの一つである**と考えています。その未来を支える人材を育て、若い世代がモノづくりに魅力を感じ、地方企業と出会う機会を創出していくことは、日本の製造業、そして地域社会の未来にとって重要な取り組みです。

（※1）従業員数過不足DI

「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を差し引いた指数

（※2）出典：経済産業省・厚生労働省・文部科学省『2026年版ものづくり白書』、中小企業庁『中小企業景況調査』、マイナビ『2025年卒大学生Uターン・地元就職に関する調査』

■ 地方企業が連携し、若いハードウェアエンジニアを育てる

ROXが目指すのは、『ハードウェア大国日本の熱源をつくる』。そのために、大都市だけでなく地方に拠点を置く企業を中心にパートナーを集め、パートナー企業同士が連携しながら若いエンジニアを育成するコミュニティを構築しています。

学生だけでなく、パートナー企業のエンジニアも、肩書きや世代を超えて縦・横・斜めでつながり、そこに集う一人ひとりがハードウェアエンジニアとして育っていくことで、産業そのものを盛り上げていくことを目指しています。

■ 会場へのご来場について

会場公開は、一般公開ではなく、参加選手のご家族・ご友人、チーム関係者、および参加パートナー企業からご紹介いただいた方を対象とした限定公開です。

日時：2026年9月4日(金) 受付時間 8:00～9:00、9:30～10:00

対象：①ご家族・ご友人 ②チーム関係者 ③参加パートナー企業からのご紹介者

事前申込：参加チーム・参加パートナー企業から、事務局へ来場者を事前にご報告いただいた方に限りご案内します（当日受付のみでのご来場はご遠慮いただいています）

■ 株式会社モルテン 代表取締役社長 最高経営責任者 民秋清史コメント

今年も ROX（Robotics Open eXchange）を開催いたします。

私たちは、ハードウェアこそが日本が世界で勝ち続けることのできる領域だと信じています。その未来を支えるためには、若いエンジニアを育て、地域企業がつながり、挑戦し続けられるコミュニティが必要です。その思いから、私たちは ROX を運営しています。

ROX 最大の特徴は、学生と企業が一つのチームとなって挑戦することです。ロボティクスを通じて出会った人たちが、共通のルールのもとで競い合い、互いに刺激を受ける。その経験が、新たな発想や技術、そして次の挑戦へとつながっていきます。

また、大会ではオリジナル楽曲や映像、DJ、ライティングを融合させた演出を取り入れ、「ハードウェアエンジニアはカッコいい！」という世界観を発信しています。エンジニアという職業そのものをブランディングし、ものづくりに憧れる若い世代を増やしていくことも、「日本一クリエイティブなロボコン」を掲げる ROX の大切な役割です。

しかし、ROX は「ロボコンだけじゃないロボコン」でもあります。大会翌日には「キャリアセッション」を開催し、第一線で活躍するエンジニアや企業の皆さまに、それぞれのキャリアやモノづくりへの想いを語っていただきます。学生にとっては将来を考えるきっかけとなり、企業にとっては次世代のエンジニアと出会う貴重な機会となります。採用が企業の競争力を左右する時代だからこそ、ROX は人と企業が出会い、将来へつながる場として、その価値を高め続けていきます。

さらに、ROX の活動は大会当日だけで終わりません。年間を通じてフィールドトリップとして会社や工場見学、人事・技術交流会などを開催し、参加企業同士が知識や経験を共有しています。ロボコンをきっかけに生まれたつながりを育み、ともに学び、ともに成長するコミュニティを目指しています。

EV、フィジカル AI、半導体、ロボティクスなど、今、世界は再びハードウェアに大きな期待を寄せています。この成長領域で日本が存在感を発揮し続けるためには、人材と技術が交わり、新たな挑戦が次々と生まれる『場』が必要です。

ROX の『Open eXchange』には、人と人、企業と企業、地域と地域が垣根を越えてつながり、新しい価値を共創していくという想いを込めています。

ROX2026 も、エンジニアと企業が集い、日本のハードウェアの未来を切り拓く熱源であり続けます。

Get Ready, ROX on!

News Release



■ 『ROX2026』 詳細

・ 開催日程

2026 年 9 月 4 日(金)、5 日(土)

・ 場所

モルテン テクニカルセンター molten [the Box]
広島県広島市西区観音新町四丁目 10-97-21

・ 参加チームフォーマットとチーム編成

企業と学生と一緒に参加。1 チーム 4 名編成

独自のルールによるロボコン大会。学生が作ったロボットにて、挑戦。

予選を勝ち抜いた 4 チームによるトーナメント、優勝チームは賞金 20 万円

・ 参加チーム

香川高等専門学校詫間キャンパス、北九州工業高等専門学校、熊本高等専門学校熊本キャンパス、熊本高等専門学校八代キャンパス、松江工業高等専門学校、岡山大学、香川大学、北九州市立大学、九州工業大学、京都先端科学大学、広島工業大学、福岡工業大学

・ チームパートナー

NOK 株式会社

岡野バルブ製造株式会社

株式会社ドーワテクノス

フクシマガリレイ株式会社

株式会社モルテン

・ 大会パートナー

株式会社三井住友銀行

株式会社ソミックマネージメントホールディングス

・ メディアパートナー

株式会社中国新聞社

・ メモリアルパートナー

オタフクソース株式会社

株式会社ますやみそ

・ BOARD MEMBERS



遠藤 謙（えんどうけん）

株式会社 Xiborg 代表取締役社長 / 義足エンジニア

慶応義塾大学理工学研究科修士課程修了後、マサチューセッツ工科大学（MIT）博士課程に進学。

メディアラボ バイオメカニクスグループにて、人間の身体能力の解析や下肢義足の研究開発に従事。

2012 年博士課程修了後、ソニーコンピュータサイエンス研究所研究員に就任。

2014 年に株式会社 Xiborg を設立し、アスリート用義足の開発を行う。



坂本 大典（さかもとだいすけ）

株式会社 XLOCAL 代表取締役

同志社大学商学部在学中に、インターンとしてユーザベースの創業に参画。同大学卒業後、ベリングポイント株式会社（現 PwC コンサルティング合同会社）を経て、再びユーザベースに入社。

SPEEDA の事業開発を経て、2013 年より NewsPicks 事業の立ち上げに従事。2019 年 4 月より株式会社ニュースピックス代表取締役社長に就任。2022 年 12 月ユーザベース/ニュースピックスを退社し、独立。2023 年より「日本と世界を繋げる」をテーマに株式会社 XLOCAL、株式会社ローカル大学、株式会社イングリッシュバンジューを創業、インタラクティブ株式会社及び株式会社 PostPrime の社外取締役に就任。2024 年から株式会社 SHONAI の取締役就任。



川村 裕一（かわむらゆういち）

Ax Robotix 株式会社 代表取締役 CEO

千葉工業大学・大学院にてロボットのハードウェア開発と進化ロボティクス（AI の一分野）の研究を行う。2012 年入社のパナソニック株式会社ではマニピュレータ型ロボットのソフトウェア開発に従事し、2014 年立ち上げに参加した株式会社 Photosynth の日本初のスマートロック「Akerun」の開発では原理試作から量産までを一貫して行った。その後フリーランスのロボット試作エンジニアとなり、数社のハードウェアスタートアップの立ち上げや新規事業プロダクトの開発に携わる。そして 2019 年に、長年感じていた課題である「日によって枕の高さやマットレスが合わず睡眠の質が落ちる」を解決するため、Ax Robotix 株式会社を立ち上げた。



民秋 清史（たみあききよふみ）

株式会社モルテン 代表取締役社長 最高経営責任者

前職は Yazaki North America inc. に勤務中に約 7 年在米。2010 年より株式会社モルテンの代表取締役社長。2022 年 11 月 1 日に初のテクニカルセンター molten [the Box] を広島に設立。

2016 年グロービス経営大学院卒業し MBA を取得

News Release



・ クリエイター

クリエイティブディレクター AR 三兄弟
MATO JAPAN

川田十夢・高木伸二
北林誠・全カ片山

・ DJ

DJ DOM-AUTO

・ MC

貢藤十六 サンフレッチェ広島 スタジアム DJ / マツダスカイアクティブズ広島 スタジアム MC

・ 審査員

田中章愛 株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント toio 開発者

■ ROX 参加・協賛のお問い合わせ

お問い合わせフォーム : <https://robotics-open-exchange.com/contact>

■ 株式会社モルテン 会社概要

競技用ボールと自動車部品の製造・販売に始まり、内部の空気圧を調整する「中空体技術」と、ゴム・樹脂などの高分子素材を扱う「高分子化学」の2つのコア技術を活用して事業を拡大してきました。現在では、競技用ボールをはじめとするスポーツ用品事業や自動車部品事業のほか、医療・福祉事業では、製品開発と学術研究の両面から社会貢献を担い、マリン・産業用品事業では、浮桟橋や橋梁用ゴム支承のほか社会基盤を構成する要素を製造・販売するなど、様々な分野で可能性を追究し続けています。

所在地：広島県広島市西区観音新町四丁目 10-97-21

設立：1958年11月1日

代表者：代表取締役社長 最高経営責任者 民秋清史

資本金：3億1,614万円

従業員：674人（単体）、3,100人（海外を含むグループ全体）（2025年9月時点）

社名由来：molten とは melt の過去分詞で、"溶解する、鋳造する"という意味に加えて、"古いものから新しいものに脱皮する"という意味を持っています。

URL : <https://www.molten.co.jp/>

お問い合わせ先

株式会社モルテン 広報室
〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目10-97-21
E-MAIL: molten_pr@molten.co.jp